

『調査報告書第三十四集 名所江戸百景と浪花百景』刊行にあたって

東京都江戸東京博物館では、平成五年の開館以来、江戸東京の歴史に関する調査研究を積み重ねてきました。その成果は、展覧会事業をはじめとして、調査報告書・紀要・史料叢書といった刊行物の出版事業や、「えどはくカルチャー」に代表される教育普及事業などを通じ、ひろく一般に公開しております。

また、都市歴史研究室では、江戸東京学の研究センターとしての役割を果たすため、国内外の博物館との共同研究を積極的に推進しています。その中の一つが大阪歴史博物館との共同研究で、両館の学芸員・研究員とで「比較都市研究 江戸と大坂」を長年にわたり継続してきました。本書は、その共同研究の成果の一環として、このたび刊行いたします。

本書のテーマである「名所江戸百景」と「浪花百景」は、東京と大阪の両博物館にとって重要なコレクションです。江戸時代末期の風景や風俗を色濃く描き出したことで注目を集めるシリーズで、両シリーズとも「百景」という名称がつけられ、縦画面に都市の代表的な名所が取り上げられています。本書には、二つの百景シリーズの全図版に加え、シリーズの制作の背景にある図会『江戸名所図会』『撰津名所図会』と絵本『絵本江戸土産』『浪華の賑ひ』をあわせて掲載しています。これらの作品・資料を通じて、一図一図のおもしろさを比較しながらご覧いただくとともに、大きく発展を遂げていた二つの都市「江戸と大坂」の景観や人びとの暮らしに思いを馳せていただければ幸いです。

最後になりましたが、本報告書の刊行にあたり、多大な御理解・御協力を賜りました大阪歴史博物館の皆様、そのほか関係の皆様にご心より御礼申し上げます。

令和二年三月

東京都江戸東京博物館
都市歴史研究室